

# らしくあれ

題字 らしくあれ 揮毫 八幡浜市八代中教諭 竹上 広子 解説は3面



発行所  
公益財団法人愛媛県教育会  
〒790-8545  
松山市祝谷町1丁目5-33  
エスポワール愛媛文教会館内  
電話 (089) 945-8644  
FAX (089) 945-1459  
E-mail info@ehime-kyouikukai.jp

謹賀新年  
(公財)愛媛県教育会  
理事長 田鍋 修  
役員 田鍋 修  
役員 同 修

## 先人に学び ともに繋ごう

### 「新しい公共」の創造を目指して



公益財団法人愛媛県教育会

理事長 田鍋 修

新年明けましておめでとう  
ございます。今年「乙未」  
とし。羊は、群れをなして行  
動するため、家族の安泰や平  
和をもたらす縁起物とされて  
います。戦争のない平和な社  
会、その基本は家族の安泰に  
あります。良き一年にしたい  
ものです。

昨年のノーベル平和賞は、  
インドの六十歳男性サティヤ  
ルティさんとパキスタン出身  
で十七歳の女性マララさんの  
二人に贈られました。一人は、  
貧困や戦乱、差別など様々な  
理由で教育の機会を奪われた  
子どもたちを救おうと尽力  
し、「教育こそが未来への道」  
と訴え続け受賞となりました。  
ところで、横綱白鵬は大相

撲九州場所、大鵬のもつ史  
上最多記録に並ぶ三十二度目  
の優勝を飾りました。横綱大  
鵬から「鵬」の一字を貰った  
白鵬は「角界の父」と慕い常  
にその手本としております。

横綱は、相撲の強さは勿論、  
品格と行動を兼ね備え、相撲  
の歴史や伝統を重んじるとと  
もに、先人の教え・その魂を  
受け継ぎ、相撲道に精進する  
ことが何より大切とされてい  
ます。白鵬関は、相撲の厳し  
さや若さから時に、心を乱し  
た土俵態度を指摘されること  
もありましたが、角界の屋台骨  
を背負う存在として、心技体  
ともに大横綱双葉山、大鵬に  
近づいた時、我が国固有の国  
技である大相撲が、真に「公  
益」になかったものとして不



(大倉可貴先生・画)

動のものになると信じます。  
今、我が愛媛県教育会は、  
何を受け継ぎ、どのように後  
世に繋いでいけばいいのかが  
問われております。  
これからの社会は、NPO  
法人やボランティア団体等と  
行政が、相互の立場や特性を  
認め、積極的にサービスを提  
供するなどの協力関係を保ち  
ながら、各々が役割を分担し  
コラボレーション(協働)す  
ることが求められています。  
愛媛県教育会もその一翼を担  
い「新しい公共」の創造を目  
指していきたいものです。  
毎年十一月に行われる「え  
ひめ教育の日」の推進は、教育  
会を含む三十八の教育関係団  
体等と行政がコラボし、社会  
総ぐるみの活動を展開して良  
きモデルとなっておりま  
す。今後も公益増進を目指す  
あらゆる団体や機関とコラボ  
し、真の「公益」を具現化す  
ることが使命と考えていま  
す。会員始め各位の御支援・  
御協力よろしくお願いいたし  
ます。

## 聞 び 響

新しい年の初めで  
ある。今年こそはと  
新たな決意を誓った  
人も多いのではない  
かと思う▼松下幸之  
助氏の著書『道をひ  
らく』の中に次のよう  
な文章がある。「他人  
の道に心をうばわれ  
、思案にくれて立ち  
ずくんでいても、道は  
すこしもひらけない。  
道をひらいていくた  
めには、まず歩まねば  
ならぬ。心を定め、懸  
命に歩まねばならぬ。  
▼最近「がんばらな  
くていいんだ。無理し  
なくていいんだ。でき  
るだけのことをしたの  
でいいんだ。」という  
ようなことをよく耳に  
する。しかし、現実  
には今の自分のできる  
だけのことをしていた  
のでは、進歩も向上も  
ない。当然自分の希  
望を実現することなど  
できるはずがない。  
それでもいいといえ  
る。これまで懸命に  
自分の立ち位置を築  
いてきた者だけに▼  
「次の世代を担う若  
者には「精一杯たく  
たくなるまでがんば  
れ! 君には必ずその  
エネルギーが内蔵さ  
れているのだ。」と  
励ますとともに、  
きちんと目標を設  
定させ、試練を乗り  
越えるための知恵  
を授け、訓練を課  
すことが大切  
である。そのよう  
な生き方を具現  
化できた者のみ、  
道が開ける。可  
能性が可能な形  
で実現するのだ  
と思う。」

ひとこと

笑顔に学ぶ



北宇和教育会  
会長  
上田 昌彦

北宇和教育会一日研修での写真が届いた。全員が笑顔の写真であった。

十一月初旬に、しまなみ海道の村上水軍記念館と来島海峡の恵みを訪ねて現職会員とOB会員が胸襟を開いて語り合い親睦を深めた研修であった。

現職会員は、それぞれの地域の教育力を生かしながら学校、家庭、地域が連携・協働して信頼される学校づくり我真摯に取り組み成果を上げている。こうした毎日の校務から解放されての、ひとときのやすらぎの笑顔であろうか。優しさや厳しさを内に秘めた笑顔である。

一方、OB会員は、地域での社会教育や自治会での活動、福祉支援活動におけるボ

ランテイヤや趣味・特技を生かした活動などに、それぞれの立場でかかわってリーダーシップを発揮して取組まれており、その柔和で温かみのある笑顔には人生の先達としての魅力を湛(た)えているようだ。

さて、普段の自分はどうかと、家族いわく、年のせいかわどちらかと言えば、家では難しい顔をしていることが多いようだ。ただ可愛い孫たちにはいつでも精一杯の笑顔を見せているらしい。今だ人生修業が足りないのか考えさせられた。

ところで、県教育会は、未来を担う子どもたちが笑顔で明るく健やかに成長するように学校・家庭・地域社会が一体となった県民総ぐるみの活動を展開することを方針としている。

北宇和教育会としても、こうした方針を受け、子どもたちと会員の笑顔が見える地域活動を、これまでの伝統を尊重しつつ、会員意識の高揚に努め、地域の特性を生かして取組んで参りたいと考えています。

学校紹介

No.155

上島町立岩城小学校

島の人みんなと、  
運動会でAKBを踊りたい！

本校がある上島町岩城島の運動会は、保育所・小学校・中学校・地域が一体となって地域の運動会として行われている。

本校の児童は、地域の運動会を盛り上げるために、いろいろなアイデアを出し頑張ってきた。昨年度は、地域の伝統的な踊り「盆踊り」において、昔行われていた仮装大会を再現した。また、太鼓は六年生の有志がたたいて、地域の人にとっても喜んでいただいた。

今年度は、五年生が、「島の人みんなとAKBを踊りたい。」とアイデアを出してきた。というの、五年生は、大三島少年自然の家のキャンプファイヤーで踊った、AKBの「恋するフォーチュンクッキー」をいろんなところで踊りたいと思ったからだ。自然の家から帰った後、五年生は、運動会で地域の人と踊



た。さらに、小学校のPTA役員会では、お父さん・お母さんに踊りを教えた。

こうして、運動会本番を迎えた。恒例の盆踊りが終わって、みんなが解散しようとしたその時、

「ちよつと待ったあー！今年はこのままでは帰しませんよー。もう一曲踊ってもらいます。」

という威勢のいい声が、聞かえてきた。そして、総勢約二五〇名の大ダンス大会が始まった。みんな笑顔で、楽しそうに踊っていた。

この活動を通して、五年生は、頑張れば自分たちでも、たくさんの人を楽しませることができると実感し、自信をもつことができた。そして、保護者や地域の人には、五年生のがんばりを十分理解していただいた。来年は、地域のあちこちから、いろんなアイデアが出ることを期待している。

(教頭 宮本 直樹)

題字に寄せて

らしくあれ



八幡市八代中  
濱市八代中  
教諭  
竹上 広子

「らしくあれ」これは、本校の教育目標です。生徒一人一人が、自分の特性を大切にしながらよさを追求し、輝いてほしいという願いが込められています。副題は「和して同ぜず」。孔子の「君子は和して同ぜず。小人は同じて和せず。」という味わい深い言葉より採られています。

この言葉を真つ先に体現してください。井上靖校長先生ご自身です。どんなときも、何があっても、いつも変わらず身をもって私たちを支え、飾りのないまっすぐな言葉で、生徒や私たち教職員を導いてくださいます。私たちが敬愛してやまない校長先生へ、感謝の気持ちを込めて書かせていただきます。

ふるさとに生きる

出会いこそが私の支え



山本英文先生

訪問者

真鍋 智明

(新居浜市教育会)

今回のテーマは「現職の時と同様に生き生きと輝いておられる山本先生の考え方や生き方を会員に伝える」にしました。先生は退職後、これまでとはひと味違った世界が開け、日々充実していると聞かれます。その人生哲学ともいえる三つの核となるものをお聞きしました。

一 視野を広げる多様な体験

現職の時から「目を開け」が座右の銘だった。人の一生で知り得ることはほんの一握りのものだ。それも本当に知り得たものかどうかも怪しい。以前、シンガポール日本人学校に勤務のとき、言葉も通じないボルネオ島の村を一人で訪ねたことがある。異文化のなか悠然と生きる彼らに、

多くのことを教えられた。

また、まちおこしの一環として、最高年齢で市民参加のミュージカルの公演に参加したのも貴重な体験となった。このほか様々な体験で得た出会いは、常に私を励まし続けている。

二 人権との出会い

現職のときからかかわった人権教育は私の人生観の大きな軸足となった。なによりも自分を見つめ直す機会となった。市の人権指導員として組織企業担当となり、幾多の啓発活動で、同志として共に歩



No. 79

んだ仲間との交友は今も続いている。そのあとの市の生涯学習大学での勤務も民間主導の運営で、その人材の豊かさと市民パワーの強さに触れることができた。いまそれらの集大成として取り組んでいる「新居浜まちおこし」はこの街で共に輝くための郷土づくりの方向を共に模索していて、日々学ぶことばかりだ。

三 写真撮影

退職後に始めた写真ライフは私にとって五感を磨き、心休まるオアシスだ。写真サークルでの作品発表もいいが、なんととっても撮影現場での無心なひとときがいい。教育会の寺子屋でかわった小学生の写真クラブでは、新鮮な子どもの目線に教えられた。

○ 今後の抱負

少しずつ身辺整理をした。整理することによって、新たなものが入る余地ができる。そして、日常の些事に潜む凜としたものにもっと触れたい。

山本先生は昨年傘寿を迎えられ記念に写真集をだされました。人生のすべての場新たにチャレンジし続ける先生の、その前向きな姿勢に学ば

せていただきました。ますますお元気で活躍ください。



新居浜市寺子屋写真教室

山本英文先生(80歳)  
(新居浜市東雲町在住)

謹賀新年



新しい年が皆さまにとりまして、良い一年でありますように！

教職員共済生活協同組合 愛媛県事業所

〒790-8545 松山市祝谷町 1-5-33 1F 3F  
TEL 089-998-2141 http://www.kyousyokuin.or.jp/

# 特集 私の夢―新年への抱負―

## 私の夢

### ―新年の抱負―



小分県上田市中央四国  
主事 坂本汰加人

私は、新規採用の学校事務職員として現在の職場に赴任しました。人生初の一人暮らしと仕事は、想像以上に大変で、学生時代と違い、社会人としての行動や組織人としての職責の重さを日々感じながら勤務に励んでおります。次々とやって来る締め切りのある仕事を処理するために、「学校事務」で調べながら悪戦苦闘の毎日でした。ですが、先輩事務職員や管理職の先生方からのご指導、事務職員研修会で学んだことにより、勤務を始めて九か月経った今では、徐々に優先順位を考えて仕事の見通しを立ててできるようになりました。そのためか、少しですが、心にゆとりがもてるようになりました。

さて、私の趣味はサッカー観戦とドライブです。中・高とサッカー部に所属してプレイヤーとしてサッカーに明け暮れる日々をおくってきました。今は一人のサッカーファンとしてJリーグやヨーロッパリーグ、ワールドカップなどの国際試合をテレビや現地で見守っています。また、車好きの家族に囲まれて育った影響もあって、ドライブやスポーツカーが大好きです。二〇一五年の新しい年を迎えて、今年は、仕事の精度と能率をさらに高めて、教職員、学校、地域に貢献できるように努力します。また、プライベートでは、趣味を楽しむ時間をつくとともに、これまでの念願である車を購入して、日本全国を車で旅したいという夢を膨らませているところなんです。社会人一年目をよむ状態で締め括るとともに、四月からの二年目を公私ともにより充実した一年にしたいです。

## 新年の抱負



小賀多市西条  
教諭 村上恵里子

社会人になり、六年がたとうとしています。まだまだ分からないことばかりで、周りの先生方に助けられてばかりです。仕事も私生活も充実した一年を過ごし、少しでも成長できるように、今年の目標を、三つたてました。

一つ目は、「自分で課題を見つけて研究すること」です。今までは、目の前にある仕事をこなすことに精一杯で、毎日が慌ただしく過ぎていきました。一つのテーマを突き詰めて研究することがあまりできませんでした。今年は、自分の研究テーマを見つけて、取り組んでいきたいです。

二つ目は、「新しい趣味を見つける」ことです。やってみたいことはたくさんあります。サーフィン、水泳、編み物、ギター…。先日、友人から中古のギターを譲り受けました。ギターは、高校の音楽の授業で触った程度です。も

らったからには、弾けるようになりたいと思います、まずはコードの練習中です。三日坊主にならないよう、今年はギターの練習をしたしたいと思います。

三つ目は、「健康に気をつける」ことです。「女性は七の倍数に体調の変わり目が訪れる。」というコマースシャルがありますが、今年の私は七の倍数。自分を過信せず、少しでも体調が悪いと感じたら、すぐ病院へ。体調管理に気をつけ、今年も皆勤賞を狙っています。

この三つを心にとめ、今年の十二月、よい一年だったと笑って過ごせるよう、努力していきたいと思えます。

## 新年への抱負



小前宮山市松山  
教諭 河合 康徳

年齢を加えるにしたがい、思うことは、一年が経つのが年々速くなる、ということだと思います。「なるようになる。」が、口癖で行き当たりばったりの

私ですが、一年の計は元旦にあり、新年への抱負を考えてみました。

まずは、「穏やかにゆったり」とした気持ちで過ごすことです。昨年度まで生徒指導主事の職務についていたため、気持ちが高張っていて、知らず知らずのうちに険しい表情になることが多かったと思います。今年度は、初めて学年主任となり、子どもたちと過ごす時間がずいぶん多くなりました。以前と比べ余裕をもって子どもや仕事に向き合うことができるようになりました。新年も昨年同様、気持ちの余裕をもって過ごしたいと思っています。

次に、「健康な体づくり」です。先日、体育の時間、跳び箱の示範を行ったところ、イメージどおりに跳べていない自分に気付き、愕然としました。そういえば、ドッジボールをしていても、なんでもないボールに当たったりしていたことを思い出しました。数年前までは、子どものボールに当たることなど無かったのですが、知らぬ間に年相応の肉体になつていたのかも知れません。今年は、子どもに

負けない体を取り戻します。若い頃とあまり変わりはないと思っていたのですが、心も体もくたびれていたようです。今一度リセットし、新たな自分で、子どもや仕事に向き合いたいと考えています。

### 明日はどうなる

砥部町宮内小  
教諭 村上 成喜

男はよろめきなながらゆつくりと歩いている。太陽は南天を大きく過ぎ、西に傾き始めていた。つと男は立ち止まり、降りてきた山を見上げる。もう何年になるのだろうか。

『木を植えた男』に出会ったのは、三十年前のこと。名もなき人間の営みが五十年、百年後の人々に豊かさを与える偉大さに震えた。それから二十年、先人の努力により開墾され、豊かな農地となった身近な山々は、荒廃の一途をた

どり、荒れ果て、害獣たちの絶好の棲み処となった。そんなとき再び手にしたのが『木を植えた男』である。

男は今、山をつくっている。桐の実を拾うことから始めた雑木の山はこの夏、カブトムシやクワガタで賑わっていた。ほとんど夏草刈りの必要もなくなった。成長の遅い花木の山は、夏草に覆われ、獣に倒される。まだまだ人の助けなしではうまく成長できない。人間五十年、命尽きるまでに誰もが憩える場所にできるであろうか。子どもたちが嬉嬉として虫を追い、人々が四季折々に花を愛でる場所に。



### 祝 受章・受賞おめでとうございます

- ◆瑞宝双光章（高齢者叙勲）  
越智 高明様 88歳 元喜多郡内子町立大瀬小学校校長 内子町
- ◆教育者文部科学大臣表彰  
越智 眞次様 60歳 松山市立勝山中学校校長 松山市  
富長千恵美様 60歳 松山市立番町小学校校長 松山市

刈り払いを終えたばかりの斜面に、たくましく伸びる樹が存在感を示している。男は、再び歩き始める。

### 今年の抱負



愛南町城辺小  
教頭 清水二十志

最近あまり時間は取れないが映画が好きで、よく見てきた。

昨年、高倉健さんが亡くなった。彼の言葉、「不器用ですから」：格好いい。

次元は全く違うが私は自分の「不器用」さを自覚している。今、私が何かをしでかしてしまっただけで、「不器用ですから」とやってしまっただけで、周囲のブーイングはどれ程のものか想像に難くない。きっとこれは高倉健さんにだけ許されている言葉なのだろう。健さんの言葉の格好よさは日頃のプロフェッショナルな仕事ぶりと生き方がクロスして生まれている。今年、「不器用ですから」がほんの少しでも似合う男になるように、



俳画・水墨画教室  
山本 紀 作

毎日の仕事に一生懸命励みたくものだ。ところで、新採から三十年経った。三十年前の一九八五年、流行ったのが「バック・トゥ・ザ・フューチャー」。そのパートIIで描かれたのがまさしく今年、二〇一五年だ。様々な道具や機械が発明され、今は技術革新、情報革命の真っ只中。

さて三十年前の自分からみて、三十年後は未来の道具以上に、学校の教師としてもつと進歩しているはずだった？自分が今いる。しかし、タイムマシンがない以上、これからの一日一日を大切にしてくしかない。残り少なくなつた未来とはいえ、自分の未来を変えていくきっかけの年にしよう。え？どうやって未来を変えるかって？うまく言えません。不器用ですから。。。

#### 学校生協

##### 冠婚葬祭事業 (株)ベルモニーのご案内

愛媛県学校生活協同組合連合会は、(株)ベルモニーと提携店契約を結んでおります。

冠婚葬祭のご利用お申し込み時に、学校名と組合員様のお名前をお伝え頂きますと、割引などの特典が受けられます。

※他団体契約との併用はできません。

お問い合わせは 愛媛県学校生活協同組合連合会  
電話 (089-925-0555)  
または都市学校生活協同組合

#### 学校生協

##### 青山・はるやまカード会員ご入会のおすすめ

愛媛県学校生活協同組合連合会は、青山・はるやま、両店舗と提携店契約を結んでおります。

どちらも組合員価格として、店頭価格より10%の割引が適用されます。

お問い合わせは 愛媛県学校生活協同組合連合会  
電話 (089-925-0555)  
または都市学校生活協同組合

第66回日連教徳島大会記念講演(昨年八月開催)

演題「自分の舞台の生かし方」

株式会社いんどり代表取締役社長

横石 知二氏

報告者



小谷柳町原高久  
博士 丹下 博

はじめに

台風が心配されたが、私には自信があった。今日は八月八日。葉っぱの日。今日のご縁を大切に、徳島に来てよかったなと思えるような話をしていきたい。

一 上勝町が成功した秘訣

上勝町はテレビや雑誌でいろいろ紹介されているが、私は地域おこしや町おこしをするつもりはなかった。その代わり、町の一人一人に役割を作っていくと思った。お年寄りや若い人にそういうかわりを作っていく結果、町が元気になっていった。今

後、上勝町も含み、少子高齢化が進み、無くなる町が増えていく。「若者よ、上勝へいらっしゃい。」と、外から若者を取り込まないといけない。うちの会社では、田舎で働きたいという若者を多数採用するためにインターン事業を始めた。

二 今の若者思考とは

自分の頭で考えることと現場はかなり違う。まず現場で体験する。気づく。そして互いがそれを教え合う。これからは、こういう空間ウォッチングを作っていくかなくてはいいけない。若者の価値観も変化してきている。今は、社会貢献、地域貢献に若者があこがれをもっている。社会貢献をしている会社に入りたいと若者も思っている。大震災以後、社会の役に立つような仕事が見たい、地域の中で自分が役

割をもつてやりたいと思う若者がどんどん増えてきている。高学歴の若者が集まってきたのを知り、田舎にもチャンスが来たと感じている。

三 高齢者の力とは

上勝町に来て一番だめだと思ったことは、みんなできない理由を言っただけで逃げていたことである。マイナス思考でいつも人のせいにする。こうすればいい、自分にとってのよい流れを呼び込まなくしている。世の中のせいではなく、自分の中に原因があると考えることが大切である。私は上勝町に来て、一度も過疎地域とか限界集落とか言っていない。そんなこと言っていたら、誰も来ない。景観や自然、いいものが、ここにはたくさんある。高齢者は大事にして、いたわらなければならぬ。高齢者は知識があり、経験がある。これが高齢者の力なのである。ものの見方、考え方はマイナスの視点ばかり見ては、いい所が見つからない。だから、自信と誇りを失ってしまふ。上勝町の人たちも最初は大会、大企業、大規模農業にあこがれていたが、私



講師 横石知二氏

は住民に「小さな山の天辺に登る」という気持ちを作った。

四 葉っぱ一枚からの発想

公務員として出発したが、町長と組合長の誘いを受けて上勝町に来ることになった。しかし、住民は地元の間人を雇うことを希望し反発した。人を批判することが日常茶飯事だった。勉強しなかつたら、上勝町に残ることになると、子どもにも教えている。こういう慣習から脱していくべきだと考えた。田舎で成功するためには、人に信用してもらうことが大切である。

大阪の寿司屋で葉っぱと出

会い、教えてもらおうと高級料亭に客として出向いた。葉っぱ一枚一枚に季節感があり、使う意味があり、いわれがあることを知り、感動した。

五 上勝町独自の取組へ

事業成功の秘訣はツボを見抜いて、コントロールしていくことである。求めているものが何かを見抜くとうまくいく。お年寄りでもやる気になれば、タブレットを活用し、木登りだってできるようになる。ずっと出番のなかった上勝町の人たちが、今は自分の居場所を見つけて頑張っている。先生方も子どもが自分の生まれ育った地域に誇りをもつように、教育していかたい。

足跡をつづる、私を記す、形に残す。

あなたが主人公のドラマを未来に伝えませんか。

受賞作品  
多数制作

本づくり応援

品質・デザイン力に自信あり!

プロのスタッフが校正作業をサポートします!  
プロのデザイナーがデザイン力を発揮します!

- 規格・装丁のご提案
- 編集方針のご提案
- レイアウト見本のご提示
- 原稿作りのアドバイス
- 予算のお見積り
- その他、ご相談承ります—

ご注文・お問い合わせは 印刷営業部 TEL (089)945-0112 FAX (089)947-6073

SEKI セキ株式会社

岡山本社 / 松山市瀬町7丁目7-1 TEL(089)945-0111  
東京本社 / 東京都渋谷区代々木3丁目2-8 TEL(03)3377-1230  
支店 / 大阪・高松・宮崎 / 名古屋・高知 http://www.seki.co.jp

- 自 分 史
- 作 品 集
- 研 究 報 告
- 記 念 誌
- 業 績 集
- 旬 集
- エッセイ集
- 写 真 集

ふるやとステーション

石岡神社の社叢



西条教育会 OB

近藤 恭司

No.374

秋季例祭で神幸に供奉する屋台行列は、伊曾乃神社の神幸と並び称せられる。神功皇后が三韓征伐の凱旋にあたり、天神地祇を祭った「祭ヶ岡」の故地がこことか。万葉集の「橘の島にし居れば川遠み曝さで縫いしわが下衣」という橘の島はこの地であるとか。天正十三年、小早川隆景



猪狩川より石岡を望む

が高尾城を攻めた時に、当社のある台地に陣を布き、付近一帯に火を放ったとか。江戸時代に周辺が干拓され、参勤交代で小松藩士が小松川を小舟で下り沖の船に乗り込んだなど、ロマン多き社叢である。

ご冥福をお祈りします

Table listing names and ages of deceased individuals, such as 北村須磨子様 (83歳), 土居 恒明様 (92歳), etc.

ローカルトピックス 天空の産業遺産

新居浜市では平成二十四年度から、郷土新居浜への理解を深め、新居浜を誇りに思う心情を育てるために、小中学生を対象にふるさと学習を行っています。そこで、新居浜の歴史を語る上で欠かせないのが別子銅山です。今から三百年余前に開山し、昭和四十八年の閉山まで二百八十二年間にわたって銅を産出し、現在の新



居浜の礎を築いた銅山です。別子銅山最盛期に採鉱本部が置かれ、現在まで残る産業遺産が東平地区です。東平地

第七回「えひめ教育の日」推進大会・フェスティバル (於 今治市)

十一月一日の「えひめ教育の日」に合わせて第七回目の推進大会・フェスティバルが今治市の日吉小学校を会場に盛大に開催されました。今回初めて中予地区を出で、来年四月に統合される今治市の小学校での実施となりました。会場いっぱい約五〇〇人余りの参加者の中、推進会議会長の田鍋県教育会理事長のあいさつの後、愛媛県議会の明

比議長様、今治市の菅市長様、推進会議顧問である愛媛県教育委員会の仙波教育長様から御祝辞をいただきました。続いて「えひめ教育の日」推進宣言、関連写真大賞受賞校表彰、松山青果より寄贈された「愛のあるバナナ」贈呈と進み、推進フェスティバル行事に移りました(推進



区は標高七百五十メートルに位置し、夏でもひんやりした場所です。現在は観光地として整備され、大型バスは入れないため、マイントピア別子からマイクロバスに乗り換えるか、自家用車で訪れることができます。大小の産業施設が数多く残っており、天空の産業遺産として観光地にもなっています。みなさんもぜひ一度、天空の産業遺産をあなたの目で見てみませんか。

文教月報編集協力委員 神野 (剛) 新居浜市立泉川中学校教頭

「えひめ教育の日」  
推進フェスティバル

初めに、来春、吹揚小学校として統合する予定の今治市立美須賀小・今治小・日吉小・城東小の四校の児童の合同演奏があり、玉川中学校がクラブ活動として継承している「龍岡万歳」、今治南高等学校のマーチングバンド演奏と続き、愛媛県指定の無形民俗文化財として知られる宅間獅子連中の皆さんによる「継ぎ獅子」が披露されました。いずれも素晴らしい出来栄でした。また、今治地区の高校生による物産販売や展示も行われ好評を博しました。愛媛県のイメージアップキャラクター「みきゃん」も特別出演し、教育の日の取組を応援してくれました。



庄巻の迫力



今治南高 マーチングバンド



玉川中学校 龍岡万歳



統合予定4小学校による合奏



高校生による物産販売



みきゃんも特別出演



宅間獅子連中の継ぎ獅子

えひめの先生方によって建てられた会館

ご利用の手引き

エスポワール愛媛文教会館

📖 研修会、会議、ご宴会後のご宿泊に ♨️ 名湯道後温泉引き湯

😊 ご家族、ご友人と当館を拠点に、道後観光はいかがですか



会議に

各種会議・研修会などに  
少人数から500名様まで

ご宿泊に

		タイプ	宿泊料金 (一人)
一般 個人	洋室	シングル ツイン (2名利用)	3,800円
	和室	(利用人数により)	3,500円 ~5,500円
団体 (20名 以上)	和室	小学生	1,500円
	洋室	中学生	1,800円
	とも	引率者 (教職員、保護者)	2,800円

ご宴会に

忘・新年会、  
行事打ち上げに  
期末慰労会、

和食、オードブル

3,000円より (飲み放題 2,000円)

○朝食 (和・洋) は 600円、夕食は 2,000円よりご用意できます。  
○平日利用は 300円引きクーポン有り。

○ご予約は 089-945-8644 (松山市祝谷町 1-5-33 愛媛文教会館)

ホームページ <http://www.ehime-bunkyoikaikan.or.jp/>